

第2章 古代までの日本

1節 世界の諸文明

1 人類の誕生と進化

次の文章を読み、問いに答えなさい。

今からおよそ 700 万年前、a 最初に出現した人類を猿人という。猿人はb 打製石器で動物を狩り、また木の実などを採集して生活していた。約 240 万年前になると、(A)が現れた。(A)は打製石器を改良し、また火を使用して氷期の厳しい環境を生きぬいた。さらに約 60 万年前、より進化した旧人が現れ、c 精神文化を発達させた。そして、約 20 万年前、現在の人類の直接の祖先と考えられている(B)が現れた。(B)は打製石器をさらに改良するとともに、優れた洞穴絵画も残した。

およそ 1 万年前に地球は温暖化し、ほぼ現在と変わらない自然環境になった。人類は農耕と牧畜を始め、石をみがいた石器である(C)をつくるようになった。農耕と牧畜が始まったことにより貧富の差が生まれ、また計画的に農耕を行うために強い指導者が求められるようになった。こうして、権力者が多くの人々を支配する国家という仕組みができ、d 金属器や文字が使用される文明が世界各地に誕生した。

- (1) 空欄(A)～(C)に当てはまる語句を答えなさい。【知・技】
- (2) 下線部 a に関して、最初に出現した人類は、どの地域で誕生したか。適切なものを 1 つ選び、記号で答えなさい。【知・技】
ア. ヨーロッパ イ. アジア ウ. オセアニア エ. アフリカ
- (3) 下線部 b に関して、人類が打製石器を使って狩猟や採集による生活を送っていた時代を何というか。【知・技】
- (4) 下線部 c に関して、高い精神文化は旧人の代表であるネアンデルタール人の、どのような行動から分かるか。簡単に説明しなさい。【思・判・表】
- (5) 下線部 d に関して、石器にかわって武器や工具に用いられるようになった金属器は何か。2 つ答えなさい。【知・技】

2 古代文明の始まり

次の文章を読み、問いに答えなさい。

ティグリス川と(A)が流れるメソポタミアでは、流域の養分豊かな土を利用して農耕が発達し、紀元前 3000 年ごろから都市を中心とした国家が誕生した。この文明を①メソポタミア文明という。紀元前 18 世紀に全メソポタミアを統一したハンムラビ王は、「a ハンムラビ法典」を制定して支配を行った。

エジプトでは、(B)の定期的な氾濫で流域の土地に養分が行きわたり、豊かな農作物にめぐまれた。この地域で栄えた文明を②エジプト文明という。紀元前 3000 年ごろ、エジプトは b ファラオと呼ばれる王の下で国家がつけられた。

現在のインド北西部を流れる(C)の流域には、紀元前 2600 年ごろ、インダス文明が栄えた。この文明の代表的な遺跡には、c モエンジョ＝ダーロがある。紀元前 1500 年ごろにはアーリヤ人が中央アジアから侵入し、やがてバラモンを頂点とする d 身分制度を生み出した。

(1) 空欄(A)～(C)に当てはまる語句を答えなさい。【知・技】

(2) 下線部①・②に関する説明として、適切なものを全て選び、それぞれ記号で答えなさい。【知・技】

ア. ヒエログリフが発明されて碑文などに用いられた。

イ. 時間の計測に用いる六十進法が生み出された。

ウ. 1 年を 365 日とする太陽暦が用いられた。

エ. 紙の一種であるパピルスが発明された。

オ. 楔形文字が発明されて、粘土板に刻まれた。

(3) 下線部 a に関して、次の文章はハンムラビ法典の条文の一部である。ここから分かることとして、適切なものを 1 つ選び、記号で答えなさい。【知・技】

[ハンムラビ法典] (一部要約)

1 条 人がもし他人を殺人の罪で訴え、それを証明できないときには、訴えた者は死刑に処せられる。

195 条 息子がその父をなぐったときは、その腕を切り落とされる。

196 条 他人の目をつぶした者は、その目をつぶされる。

199 条 他人の奴隷の目をつぶしたり、骨を折ったりした者は、その奴隷の値段の半分を支払う。

ア. 刑罰は王がそのたびに判断することになっている。

イ. 身分による刑罰の差はなく、平等な社会である。

ウ. 犯した罪によって、刑罰が定められている。

エ. 証明できなくても罪を訴えることを推奨している。

(4) 下線部 b に関して、ファラオが築かせた巨大な王の墓を何というか。【知・技】

(5) 下線部 c に関して、モエンジョ＝ダーロとはどのような遺跡か。簡単に説明しなさい。【思・判・表】

(6) 下線部 d が基となり、インド社会に今なお残っている身分制度を何というか。【知・技】

3 地中海文明の発展

次の文章を読み、問いに答えなさい。

紀元前8世紀、エーゲ海周辺の各地に成立した a 都市国家 でギリシア文明が生まれた。ギリシア文明が生み出した哲学・自然科学・文学・美術などの高度な文化は、のちの近代ヨーロッパ文明の源流となった。

ギリシアは紀元前4世紀末に北方のマケドニアによって征服され、都市国家の時代は終わった。マケドニアの(A)はオリエントのアケメネス朝をほろぼし、さらにインドまで遠征して、東はインドから西はギリシアまで広がる大帝国を築いた。各地にはギリシア風の都市が建設され、ギリシア文化とオリエント各地の文化が混ざり合って(B)が生まれた。

紀元前6世紀末にイタリア半島に成立した都市国家ローマでは、初めは共和政が行われたが、のちに帝政に移り、ローマ帝国となった。ローマ帝国はやがて4世紀末に東西二つの帝国に分裂した。西ローマ帝国は476年に滅亡したが、b 東ローマ帝国 は15世紀まで続いた。

(1) 空欄(A)・(B)に当てはまる語句を答えなさい。【知・技】

(2) 下線部 a に関する次の問いに答えなさい。

- ① パルテノン神殿が置かれたギリシアの都市国家を何というか。【知・技】
- ② ペリクレスの指導の下、①の都市国家では、どのような政治が行われたか。適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。【知・技】
 - ア. 王は神から権力をあたえられるとされ、王が絶対的な権力をにぎる絶対王政。
 - イ. 市民が地域で選挙を行い、選ばれた領主が議会で政治を行う間接民主政。
 - ウ. 貴族で構成された元老院が、平民で構成された民会を指導する共和政。
 - エ. 市民が民会で議論し、多数決で国家の重要な事柄を決定する直接民主政。

(3) 下線部 b に関する次の問いに答えなさい。【知・技】

- ① 東ローマ帝国は、ローマ帝国と区別するため、何と呼ばれることがあるか。【知・技】
- ② 東ローマ帝国の首都の位置として、適切なものを次の地図中のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。【知・技】



4 中国文明と東アジア

次の文章を読み、問いに答えなさい。

東アジアでは、(A)や長江の流域を中心に、中国文明が栄えた。(A)の流域にはやがて都市が発達し、紀元前 16 世紀ごろには a 殷(商)王朝が生まれた。紀元前 11 世紀に殷をほろぼした(B)は、紀元前 8 世紀になると勢力がおとろえ、それから 500 年以上にわたって、多くの国に分裂して争う時代が続いた。この時代には、 b 諸子百家と呼ばれる多くの思想家が活躍した。

紀元前 221 年、秦が初めて c 中国全土を統一し、王は(C)を名乗った。しかし、(C)の死後間もなく、各地で反乱が起き、秦はほろんだ。続いて中国を支配した(D)は、紀元前 2 世紀後半の武帝のときに、周辺に領土を広げ、大帝国となった。西方は中央アジアまで支配を広げ、東方には d 楽浪郡などの郡を置いた。3 世紀に(D)がほろんだ後、中国は分裂と対立をくり返す時代をむかえ、中国の諸王朝は、支配者の地位を示すために e 周辺の国々とのつながりを強めようとした。

(1) 空欄(A)～(D)に当てはまる語句を答えなさい。【知・技】

(2) 下線部 a に関する説明として、適切なものを 1 つ選び、記号で答えなさい。【知・技】

- ア. うらないの記録をするため、甲骨文字が使われた。
- イ. 殷の王は仏教を信仰し、仏の教えに従って国家を支配した。
- ウ. 祭りでは、複雑な文様を持った鉄器が盛んに用いられた。
- エ. 殷の土地は農耕に適さなかったため、人々は遊牧を行っていた。

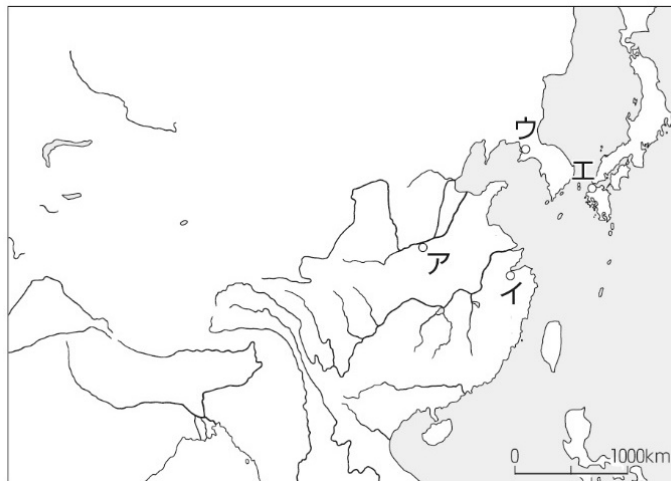
(3) 下線部 b に関して、儒教(儒学)の開祖となった思想家はだれか。【知・技】

(4) 下線部 c に関する次の問いに答えなさい。

- ① 統一後、中央集権的な支配をするために行われた政策は何か。具体例を 1 つ答えなさい。【知・技】
- ② 統一後、北方の遊牧民族の侵入を防ぐために行われたことは何か。【知・技】

(5) 下線部 d に関する次の問いに答えなさい。

- ① 楽浪郡の位置として、適切なものを次の地図中のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。【知・技】



② 4世紀初めに楽浪郡をほろぼした国はどこか。【知・技】

(6) 下線部 e に関する次の問いに答えなさい。

① 周辺諸国が中国の王朝に定期的に貢ぎ物を送ることを何というか。【知・技】

② 周辺諸国が①のような行動をとったのはなぜか。理由を簡単に説明しなさい。【思・判・表】

5 宗教のおこり

次の文章を読み、問いに答えなさい。

紀元前6世紀ごろのインドに生まれた(A)は、人々の迷いや苦しきは修行によって心の内面から解消できると教え、仏教を開いた。a 仏教は世界に広まり、各地にさまざまな新しい教えを生み出し、展開していった。一方で、インドでは仏教の勢いがおとろえ、かわってバラモン教の流れをくむ(B)が根付くようになった。

西アジアのパレスチナ地方では、ヤハウェを全能で唯一の神とする(C)が信仰された。やがて、この地はローマ帝国によって支配され、パレスチナの民衆はローマ帝国の支配に苦しんだ。紀元前後にこの地に生まれたイエスは隣人愛を説き、民衆はイエスを救世主だと信じたが、イエスはローマ帝国により反逆者として処刑された。しかし、イエスの教えは弟子たちによってローマ帝国各地に広められ、(D)が誕生した。やがて(D)はローマ帝国に公認され、ヨーロッパで広く信仰されて、b のちに世界中に伝わった。

アラビア半島西部に生まれた(E)は7世紀の初め、イスラーム教を始めた。イスラーム教の教典である『(F)』は、(E)が神からあたえられた言葉を記録したもので、信仰だけでなく、政治や経済・文化など人間生活のあらゆる面の決まりが定められている。

- (1) 空欄(A)～(F)に当てはまる語句を答えなさい。【知・技】
- (2) 下線部 a に関して、個人の修行を重視する上座部仏教は、スリランカを経て広まった。上座部仏教が伝わった地域として、適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。【知・技】
ア. 朝鮮 イ. タイ ウ. 日本 エ. 中国
- (3) 下線部 b に関して、イエスの教えがアメリカ・アフリカ・アジアにも伝わったのはなぜか。理由を簡単に説明しなさい。【思・判・表】

2節 日本文化のあけぼの

1 縄文文化の誕生

次の文章を読み、問いに答えなさい。

日本列島に人類が出現したのは、今から約3万8000年前の旧石器時代である。この時代にはa 大陸とほぼ地続きの時期もあったため、ナウマンゾウやオオツノジカなどの大型動物とともに、人類も日本列島にやってきた。

約1万6000年前になると、b 土器が使われ始めた。表面に縄などを転がして文様を付けたものが多いことから(A)と呼ばれる。土器は食料などを入れて保存する容器として使われるほかに、煮炊きの調理道具としても使われた。c 狩猟には、落とし穴や弓矢が使われるようになった。

地球環境の変化や道具の発達で、季節を通じて食料を獲得できるようになると、人々は水辺近くの住みやすい土地に定住するようになった。地面をほりくぼめて、その中に柱を立てて屋根をかけた(B)が、広場を取り巻くように数棟並び、d 集落が形成された。住居に使用する木を切りたおすためには、e かたい石を磨いた石斧が使われた。人々が食べた貝の殻や魚・動物の骨などは一定の場所に捨てられて(C)ができた。

集団生活の中でさまざまな風習が生まれ、災いを遠ざけるためf 呪術にたよることもあった。集団の中に指導者はいたが、貧富の差や身分の上下は明確ではなく、またg 遠くの集団との交易も行われた。

- (1) 空欄(A)～(C)に当てはまる語句を答えなさい。【知・技】
- (2) 下線部 a に関して、旧石器時代に日本列島が大陸とほぼ地続きであったのはなぜか。理由を簡単に説明しなさい。【思・判・表】
- (3) 下線部 b に関して、土器の出現は自然環境の変化と関係がある。どのような変化か、簡単に説明しなさい。【思・判・表】
- (4) 下線部 c に関して、このころ落とし穴や弓矢を使って狩猟が行われた動物として、適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。【知・技】
ア. マンモス イ. ナウマンゾウ ウ. イノシシ エ. オオツノジカ
- (5) 下線部 d に関して、青森県にあるこの時代の大規模な集落の遺跡を何というか。【知・技】
- (6) 下線部 e に関して、このように磨いてつくった石器を何というか。【知・技】

- (7) 下線部 f に関して、豊かな収穫や子孫繁栄を願ってつくられたとされる、次の図のような女性を表現した人形を何というか。【知・技】



- (8) 下線部 g に関して、遠くの集団との交易が行われたと分かるのはなぜか。理由を簡単に説明しなさい。【思・判・表】

2 稲作の広まりと弥生文化

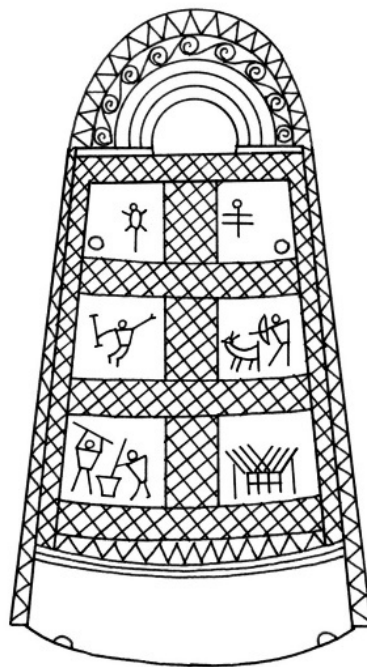
次の文章を読み、問いに答えなさい。

縄文時代の終わりごろ、水田による稲作が九州北部に伝わり、紀元前5世紀から紀元前4世紀ごろには東日本にも稲作が広まった。稲作に使う道具をつくる技術も稲作とともに入ってきて、それまでの縄文土器とちがって、文様が少なく、高温で焼くため赤褐色をした、かたくて薄手の(A)がつくられ、使用されるようになった。

稲作が広がると、人々の生活も大きく変わった。人々は水田をつくって木製の鋤や鍬で耕し、実った米を(B)で収穫した。収穫した米は a 高床倉庫におさめ、杵で臼について脱穀して食べた。また、豊作をいのり、収穫に感謝して、祭りが行われた。稲作とともに伝わった青銅器も、b 祭りの道具として用いられた。

c 稲作が広まる中、集団の中で身分のちがいが生まれてきた。指導者は集落をまとめ、周辺の集落を従えて、より規模の大きな集落を形成するようになった。こうして各地に「(C)」と呼ばれる政治的なまとまりが成立していった。このころの遺跡からは d 首の切られた遺骨が見つかるほか、外敵を防ぐために集落の周りに濠をめぐらした(D)もつくられるようになった。

- (1) 空欄(A)～(D)に当てはまる語句を答えなさい。【知・技】
- (2) 下線部 a に関して、収穫した米を高床倉庫におさめたのはなぜか。理由を簡単に説明しなさい。【思・判・表】
- (3) 下線部 b に関して、次の図のような青銅器を何というか。【知・技】



- (4) 下線部 c に関して、稲作が広まることによって身分差が生まれたのはなぜか。理由を簡単に説明しなさい。【思・判・表】
- (5) 下線部 d に関する問いに答えなさい。
- ① このような遺骨が埋葬されていることから、どのようなことが分かるか。簡単に説明しなさい。
【思・判・表】
 - ② 佐賀県にある大規模な遺跡から、このような遺骨が見つかっている。この遺跡を何というか。【知・技】

3 古墳とヤマト政権

次の文章を読み、問いに答えなさい。

3世紀中ごろから後半になると、大型で特徴的な形状の a 古墳が西日本に出現した。なかでも、4世紀までの規模の大きな古墳は現在の奈良県内の大和と呼ばれた地域に集中的につくられており、この地域には強い力を持った豪族がいたことが分かる。この地域の豪族たちを中心にした政治的連合をヤマト政権といい、その首長を(A)と呼ぶ。古墳の上には(B)が並べられ、石室の中には副葬品がおさめられた。b 副葬品は、初めは銅鏡や玉など祭りの道具が多かったが、のちには鉄製の武具や馬具など軍事的なものが多くなっていった。

東アジアの中では、ヤマト政権(倭)は c 加耶諸国と密接な関係を持っていた。また、南へ勢力を広げる高句麗と倭が戦ったことが、高句麗の(C)という石碑に記されている。そして5世紀には、d 倭の五王と呼ばれる5代にわたるヤマト政権の(A)が中国南朝の皇帝に使者を送ったことが、中国の歴史書に記されている。このような中国や朝鮮半島との活発な交渉の中で、大陸から日本列島に多くの人々が海をわたって移り住み、自分たちの文化を伝えた。かれらは(D)と呼ばれ、さまざまな e 技術や知識をもたらし、その後の日本列島の文化に大きな影響をあたえた。

(1) 空欄(A)～(D)に当てはまる語句を答えなさい。【知・技】

(2) 下線部 a に関する次の問いに答えなさい。

① 円形の墳丘と方形の墳丘を接続させた古墳を何というか。【知・技】

② ①の代表例で、現在の大阪府にある日本最大の古墳を何というか。【知・技】

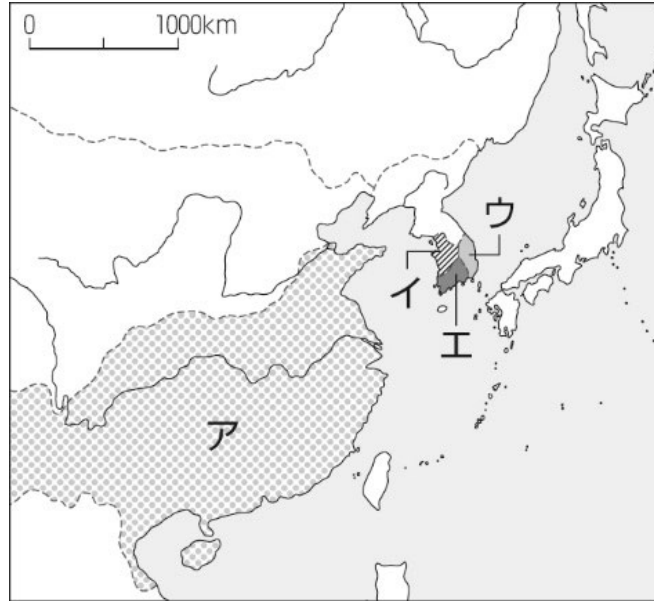
(3) 下線部 b に関して、このような副葬品の変化から、指導者の性格はどのように変化したことが分かるか。簡単に説明しなさい。【思・判・表】

(4) 下線部 c に関する次の問いに答えなさい。

① ヤマト政権が加耶諸国と密接な関係を持っていたのは、ある資源を確保するためである。どのような資源か、適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。【知・技】

ア. 銅 イ. 金 ウ. 鉄 エ. 銀

- ② 加耶諸国の位置として、適切なものを次の地図中のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。【知・技】



- (5) 次の史料を読み、下線部 d に関する以下の問いに答えなさい。

〔稻荷山古墳出土鉄剣の銘文〕（一部要約）

……(X)(雄略天皇か)の朝廷がシキの宮にある時、私(ヲワケの臣)は大王が天下をおさめるのを補佐した。この何回もきたえたよく切れる刀をつくらせ、私^dが大王に仕えてきた由来を記しておくものである。

〔江田船山古墳出土鉄刀の銘文〕（一部要約）

天下をおさめる(X)の世に(私は)仕えた。……この刀を持っている者は長寿であり、子孫もまた、その恩恵を得る。そしておさめる所を失うことはない。刀をつくった者の名はイタワ(イタカ)。文を書いた者は張安である。

- ① 空欄(X)に当てはまる、倭の五王の1人を答えなさい。【知・技】
- ② 史料が出土した場所から、①の人物の支配に関してどのようなことが分かるか。簡単に説明しなさい。【思・判・表】
- (6) 下線部 e に関して、窯を築いて高温で焼く硬質で灰色の土器を何というか。【知・技】